

第1回下関市景観賞 概要

1. 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、新市としての一体的、総合的な景観施策の展開を図るための基本的な方針を示した「下関市景観基本計画」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、合併後初の「下関市景観賞」を実施。

合わせて、今年度の「下関市景観計画」の策定及び改正「下関市景観条例」の公布の周知、景観まちづくり団体への助成制度の設立、景観まちづくりを担う人材の育成につなげていく。

2. 表彰対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ① 良好な景観を形成している民間の建築物
- ② 良好な景観を形成するための活動を行っている市民・事業者・団体等

3. 応募方法及び件数

1) 一般公募 (35件)

募集期間 平成22年8月20日(金)～平成22年9月17日(金)

2) 市民アンケート (5件)

「下関市景観基本計画」策定時に実施した市民意識調査(アンケート)において、市民意識の高い「魅力ある資源、場所、地域の活動」のうち、表彰対象の要件を満たすもの。

4. 選考

1) 選考者：下関市景観賞選考委員会 31名

(都市景観審議会委員、デザイン委員会委員、まちづくり団体代表、地域審議会会長等)

2) 選考対象：31件(一般公募、市民アンケートのうち、対象外、重複分を除いたもの)

3) 選考方法：

① 意見交換会 (9月22日(水) 10:30～11:40 カラトピア5階B会議室)
市が作成した資料に基づき、委員による意見交換会を実施。

建築物については、現地視察担当に一任、活動については、意見の多かった5件を選出

② 現地視察 (9月27日(月) 9:30～19:30)

建築物11件、活動5件について、デザイン委員会委員のうち代表者5名が現地視察。
最終選考を実施。

4) 選出件数：3件

5. 表彰

日時：平成22年10月4日(月) 10:30～ (都市景観の日)

場所：本庁 5階 市長応接室

参加者：吉川副市長、赤沼都市整備部長以下都市計画課関係職員10名(当日スタッフ含む)

受賞者 3名

受賞対象



【建築部門】歌野清流庵 (下関市菊川町上岡枝 1812)

江戸時代末期に建てられた茅葺屋根と四つ間取り形式の平面型及び大黒柱を中心とした架構形式の建物。

平成15年から16年にかけて、NPO「歌野の自然とふれあう会」によって、屋根の葺き替えが行われました。

茅葺屋根の建物と周辺の自然や田園と一体となった景観、及びそれを保全するための様々な活動が評価されました。

(受賞者：歌野の自然とふれあう会)



【建築部門】古串屋 (下関市長府南之町5番15号)

城下町長府にある老舗料亭。料亭「古串屋」としての創業は明治4年。

現在の建物は、長府大火後の昭和24年に建設。

壇貝川沿いの景観と調和した和風建築物で、長府の歴史を意識した質の高さ、手入れが行き届いており、和風料亭として現在も継続的に営業している点が評価されました。

(受賞者：有限会社 古串屋)



【活動部門】クスの森を守る会 (下関市豊浦町大字川棚下小野)

昭和53年から国の天然記念物「川棚クスの森」を守り後世に残すため、周辺の整備や清掃の活動を行っています。

地元住民の地域景観への愛着と、参加者の技能を活かした永続的な活動が評価されました。

(受賞者：クスの森を守る会)

特別賞

最終選考に残り、評価の高かったものについて、最終審査を行った下関市都市景観審議会デザイン委員会から「特別賞」として、後日賞状を授与。

【建築部門】門野邸 (下関市金毘羅町9番9号)

木造平屋建の一般住宅。隣接する住宅との一体感、赤煉瓦の塀・外壁・側道・倉の色彩の関係性が評価されました。

【建築部門】やまぎん史料館 (下関市観音崎町10番6号)

山口県指定有形文化財に指定されている下関市観音崎町の「山口銀行旧本店」の隣に、創業当初からの史料や郷土工芸品を展示する展示棟と収蔵庫を新設した建築物。周辺建築物との調和した建築方法、屋上緑化等の企業努力が評価されました。

【活動部門】歌野棚田石垣 (下関市菊川町上岡枝 1738 番地他)

今から100年前に歌野の住民が四国から石工を招いて造った巨大な石材を3段から4段積みあげられた石垣の棚田の保全のため、下関市菊川町ふるさとづくり推進協議会が、草刈、立木伐採作業等を行っています。

近年活動を開始したばかりですが、今後の活動拡大への期待を込めての選出となりました。

第2回下関市景観賞 概要

1. 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2. 表彰対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ① 良好な景観を形成している民間の建築物、工作物、まちなみ、自然環境
- ② 良好な景観を形成するための活動を行っている市民・事業者・団体等

3. 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間 平成23年6月1日(水)～平成23年7月10日(日)
- 2) 募集広報 市ホームページ、市報6月1日号、メールマガジン、新聞、ラジオ等
市庁舎1階パネル展示、ポスター・チラシ(60箇所)
- 3) 応募件数 75件

4. 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員
- 2) 選考対象：63件(応募件数のうち、対象外、重複分を除いたもの)
- 3) 選考方法：
 - ① 書面審査 (7月19日(火))
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
得票数の多かったもの19件を選出。
 - ② 現地視察 (7月25日(月) 9:30～19:50)
書面審査通過物件について、デザイン委員会委員のうち代表者6名が現地視察。
最終選考を実施。9件選出。
 - ③ 意見交換会 (8月30日(火) 15:30～)
現地視察により選出された候補9件について、意見交換会を実施。
景観審議会委員、デザイン委員会委員、まちづくり団体代表、地域審議会会長等参加
 - ④ 最終決定 ()
現地視察、意見交換会を踏まえ、デザイン委員会委員により、表彰物件3件選出。

5. 表彰

- 1) 日時：平成23年10月4日(火) 10:30～ (都市景観の日)
- 2) 場所：下関市役所 議会棟 第1委員会室
- 3) 参加者：赤沼都市整備部長以下関係職員10名、受賞者4名
- 4) 表彰部門
 - ① 建築部門
建築的、歴史的、文化的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等
 - ② 風景・まちなみ部門
地域固有の景観を活かした、質の高い魅力あふれるまちなみの景観
 - ③ 景観を守り育てる活動部門
地域の魅力を活かした、景観を守り育てる活動や、景観まちづくりを推進する活動

受賞対象



【建築部門】

下関酒造株式会社

(下関市幡生宮の下町8番23号)

創業大正12年の清酒製造販売業者。酒蔵を改装し店舗として活用。ジャズイベントの開催等も行われています。

レンガ造りの古い煙突、軒の低い庇や銘板屋号サイン、エントランス部分の植栽等、歴史的にも建築意匠的にも素晴らしく、街中にこの建物が残っていることが評価されました。

(受賞者：下関酒造株式会社)



【風景・まちなみ部門】

室津地区のまちなみと鏝絵群

(下関市豊浦町大字室津下)

室津地区に残る鏝絵(壁に塗る漆喰の材料を鏝で盛り上げて彫刻風にしたもの)のある集落。

鏝絵がまとまって見られる地域は県内でも珍しく、希少価値が高いこと、新築の家屋でも作製されている鏝絵もある等、地元の方が鏝絵に愛着をもたれているところが評価されました。

(受賞者：室津自治会連合会)



【景観を守り育てる活動部門】

奥野の棚田

(下関市豊田町大字空路子)

昔から厳しい地形での農業の営みの中で形成された、豊田町を代表する棚田風景。近くには棚田が作られた当時の石垣がそのまま残っています。

中山間地の景観維持保全活動として、約5世帯で約4ヘクタールの棚田を管理しており、自然の河川の形態が残存していること、人の暮らしと地域の風景が一体となって形成されている景観が評価されました。

(受賞者：奥野の棚田管理組合)

第3回下関市景観賞 概要

1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 表彰対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ① 良好な景観を形成している民間の建築物、工作物、まちなみ、自然環境
- ② 良好な景観を形成するための活動を行っている市民・事業者・団体等

3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間 平成24年6月1日(金)～平成24年7月10日(火)
- 2) 募集広報 市ホームページ、市報6月1日号、メールマガジン、新聞、ラジオ等
市庁舎1階パネル展示、ポスター・チラシ(60箇所)
- 3) 応募件数 75件

4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員(10名)
- 2) 選考対象：68件(応募件数のうち、対象外、重複分を除いたもの)
- 3) 選考方法：
 - ① 書面審査(7月17日(火))
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
得票数の多かったもの18件を選出。
 - ② 現地視察(7月24日(火)9:30～19:00)
書面審査により選定された18物件のうち14物件について、デザイン委員会委員のうち代表者4名が現地調査。
 - ③ 最終審査(8月1日(水)15:00～18:00)
現地調査を踏まえ、デザイン委員会委員により、表彰物件4件を選出。

5 表彰

- 1) 日 時：平成24年10月4日(木)10:00～(都市景観の日)
- 2) 場 所：下関市役所 議会棟 第2委員会室
- 3) 参加者：受賞関係者10名、過去受賞者4名、デザイン委員会委員2名、吉川副市長以下
下関市関係職員8名
- 4) 表彰部門
 - ① 建築部門
建築的、歴史的、文化的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等
 - ② 風景・まちなみ部門
地域固有の景観を活かした、質の高い魅力あふれるまちなみの景観
 - ③ 景観を守り育てる活動部門
地域の魅力を活かした、景観を守り育てる活動や、景観まちづくりを推進する活動
 - ④ 特別賞

受賞対象



【建築部門】

めぐみ幼稚園第1園舎・第2園舎

(下関市上田中町二丁目13番26号、30号)

第1園舎は、近江兄弟社の設立者で知られるW.M.ヴォーリズが開設したヴォーリズ建築事務所の設計、第2園舎は、明治期に長崎から現在地へ移築されたとも伝えられるベランダコロニアル・スタイルの建築物です。建築物そのものはもとより、古い建物を幼稚園の園舎として上手に活用している点が評価されました。

(受賞者：学校法人めぐみ学園)



【風景・まちなみ部門】

伊崎・新地のまちなみ

(下関市新地西町、上新地町、伊崎町一丁目)

伊崎本通りとも呼ばれている路地は、映画のロケ地として使用されたこともあり、昔ながらの銭湯や、木造二階建ての長屋が風情のあるたたずまいで残されています。高杉晋作が身を隠したと伝えられる井戸など、周辺には維新の志士たちのゆかりの場所も多く、暮らしと一体となって古き良き昭和のまちなみが残されている点が評価されました。

(受賞者(代表)：新地自治連合会)



【景観を守り育てる活動部門】

友田川環境美化・ほたる保護活動

(下関市安岡地区友田川流域)

安岡地区の友田川や安岡小学校内のホタルハウスを拠点に、ゲンジボタルの飼育・放流のほか、河川清掃などを行っています。小学校の児童を中心に、地域住民が一体となって活動にかかわっている点が評価されました。

(受賞者：安岡ふるさとまちづくり事業推進協議会ほたる育成部会・下関市立安岡小学校)



【特別賞】

フロイデ彦島

(下関市彦島西山町三丁目12番1号)

平成17年に開設された介護福祉の複合施設で、その立地条件から形成される風景や、海岸清掃の実績から、「建築部門」、「風景・まちなみ部門」、「景観を守り育てる活動部門」の3部門いずれの部門においても高い水準に位置する点が総合的に評価され、特別賞を授与するに至りました。

(受賞者：社会福祉法人松涛会)

第4回下関市景観賞 概要

1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ① 良好な景観を形成している民間の建築物、工作物、まちなみ、自然環境
- ② 良好な景観を形成するための活動を行っている市民、事業者、団体等
- ③ お気に入りのビューポイント（視点場）

3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成25年6月1日（土）（景観の日）～平成25年7月10日（水）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号、メールマガジン、テレビ等
市庁舎1階パネル展示、ポスター・チラシ（60カ所）
- 3) 応募件数：68件

4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（10名）
- 2) 選考対象：35件（「募集対象」①及び②のうち、対象外等を除いたもの）
- 3) 選考方法：
 - ・書面審査（8月6日（火）～8月21日（水））
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
得票数の多かったもの7件を現地審査対象として選定。
 - ・現地審査（8月28日（水）9:00～16:00）
対象7件について、デザイン委員会委員のうち8名が現地審査。
 - ・最終審査（8月28日（水）16:30～18:00）
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員により、表彰物件5件を選出。

5 表彰

- 1) 日時：平成25年10月4日（金）（都市景観の日）10:00～
- 2) 場所：下関市立しものせき水族館“海響館”小松☆ワローホール
- 3) 参加者：受賞関係者9名、過去受賞者1名、デザイン委員会委員2名、本間副市長以下
下関市関係職員8名
- 4) 表彰部門
 - ・建築部門
建築的、歴史的、文化的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等
 - ・風景・まちなみ部門
地域固有の景観を活かした、質の高い魅力あふれるまちなみの景観
 - ・景観を守り育てる活動部門
地域の魅力を活かした景観を守り育てる活動や、景観まちづくりを推進する活動
 - ・特別賞
 - ・地域活動奨励賞

受賞対象



【建築部門】

みどりの丘歯科医院&ぶどうの木

（下関市王司上町）

平成23年に開設された託児施設併設の歯科医院。単なる医療機関ではなく、公民館のようなコミュニティ活動の場となることを目指し、地域への貢献が意識された施設です。効果的な緑化により引き立つすっきりとした建物のデザインとともに、そのコンセプトや機能も評価されました。

（受賞者：みどりの丘歯科医院）



【風景・まちなみ部門】

高雄邸

（下関市田中町）

狭い路地に面した和風住宅で、路地から大きく後退した建物配置や美しい植栽により、開かれた空間を構成しています。単独の建築物ではありませんが、空間と路地の関係性や、地域のまちなみ景観の向上への貢献から、「風景・まちなみ部門」で先導的なモデルケースとして評価されました。

（受賞者：高雄 皓三）



【景観を守り育てる活動部門】

貴和の里につどう会

（下関市菊川町大字嚮井、大字道市、大字縦ノ木）

美しい田園風景を構成する農村集落を維持するために、都市農村交流や、空き家の活用等の活動を行う団体で、平成19年から活動を続けています。交流拠点施設や宿泊施設、五右衛門風呂等の施設整備も進めています。美しい景観として表出した地域住民による多様な活動が評価されました。

（受賞者：貴和の里につどう会）



【特別賞】

砂の造形コンテスト（下関市大字吉母 吉母海岸）

ユニークな3校連携の活動が子どもたちの心に積み重なり、将来の景観づくりにつながることへの期待から特別賞の授与となりました。

（受賞者：吉見小学校、吉母小学校、蓋井小学校）



【地域活動奨励賞】

宇賀地区活性化推進協議会（下関市豊浦町大字宇賀）

椿まつりの開催や鯖釣山登山道の整備等、地域の景観資源を活かした活動の継続への期待から、地域活動奨励賞の授与となりました。

（受賞者：宇賀地区活性化推進協議会）

第5回下関市景観賞 概要

1 趣旨

平成26年度に実施する下関市景観賞は、下関市合併10周年記念と銘打ち、例年の趣向とは異なり、

2部門のコンテストを実施した。

2 コンテスト概要

1) コンテスト名称、テーマ

①美しい景観写真コンテスト

テーマ：後世に伝えたい、守りたい、下関の美しい景観写真を募集します

②10歳に子どもたちによる風景画コンテスト

テーマ：あなたの好きな下関市の風景を描いてみよう

2) 募集期間

①②ともに 平成26年6月2日（月）～平成26年9月8日（月）

3) 募集広報

市ホームページ、市報6月号、市内小学校訪問、市内カメラ店あて文書送付等

4) 応募件数

①美しい景観写真コンテスト 55点

②10歳の子どもたちによる風景画コンテスト 158点

3 選考

1) 選考者

下関市景観審議会デザイン委員会（6名）、まちなみ住環境整備課長

2) 選考方法

市の広報担当者及び美術館職員による評価ポイントの講義の後、選考者による合議選定

①最優秀賞1点、優秀賞2点、入選6点

②最優秀賞1点、優秀賞2点、入選6点、審査員特別賞6点

4 表彰

1) 日時：平成26年10月4日（土）（都市景観の日）11:00～

2) 場所：シーモール下関2階サンパティオ

3) 参加者：受賞関係者18名、坂本副市長以下下関市関係職員5名

5 作品展示

平成26年10月4日（土）～5日（日） シーモール下関

平成26年10月6日（月）～9日（木） ゆめシティ

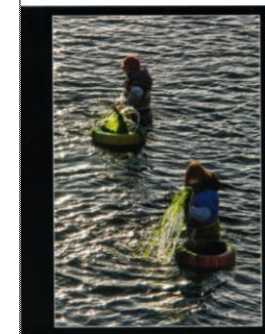
受賞作品

①美しい景観写真コンテスト



【最優秀賞】
森木 泰代

【タイトル】
虹色あるかぼーと



【優秀賞】
谷野 和恵

【タイトル】
冬の風物詩



【優秀賞】
豊島 信行

【タイトル】
楽しい田植え



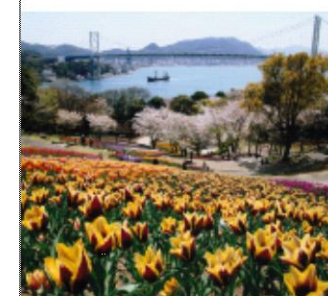
【入選】
黒木 丸生

【タイトル】
春の訪れ



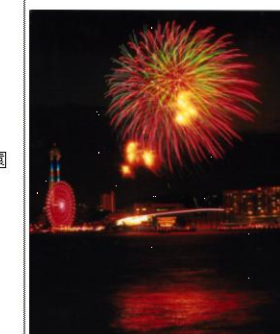
【入選】
臼本 豊

【タイトル】
灯ろう流し



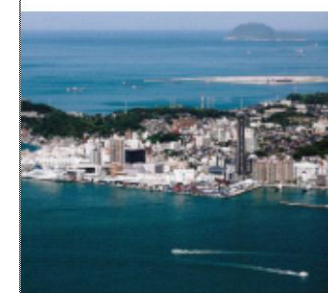
【入選】
藤井 國夫

【タイトル】
海峡を望むチューリップ園



【入選】
福本 高俊

【タイトル】
コラボレーション



【入選】
渡辺 久徳

【タイトル】
海峡の街、下関



【入選】
橋本 聡子

【タイトル】
雪の城下町

受賞作品

②10歳の子どもたちによる風景画コンテスト

 <p>【最優秀賞】 角倉小 岩田 拓真</p> <p>【タイトル】 火の山で遊ぼう！</p>	
 <p>【優秀賞】 養治小 本吉 純都</p> <p>【タイトル】 港のバス停</p>	 <p>【優秀賞】 滝部小 活田 瞳</p> <p>【タイトル】 母がかよった小学校</p>
 <p>【入選】 王江小 池田 龍太郎</p> <p>【タイトル】 日本海側で最初にできた灯台</p>	 <p>【入選】 檜崎小 田村 奈津美</p> <p>【タイトル】 海峡花火</p>
 <p>【入選】 長府小 藤川 紀杏</p> <p>【タイトル】 「火の山からながめる関門海峡」</p>	 <p>【入選】 長府小 藤本 匠</p> <p>【タイトル】 大切な乃木神社</p>
 <p>【入選】 長府小 松本 拓磨</p> <p>【タイトル】 ぼくのふるさと</p>	 <p>【入選】 一の宮小 永富 壮馬</p> <p>【タイトル】 旧下関英国領事館の朝焼け</p>

 <p>【審査員特別賞】 勝山小 植村 悠生</p> <p>【タイトル】 海きょう花火大会</p>	 <p>【審査員特別賞】 長府小 清水 希々花</p> <p>【タイトル】 だれもない学校</p>
 <p>【審査員特別賞】 長府小 河野 あやか</p> <p>【タイトル】 先帝祭のようす</p>	 <p>【審査員特別賞】 長府小 榎田 心一</p> <p>【タイトル】 角島大橋</p>
 <p>【審査員特別賞】 清末小 黒田 泰地</p> <p>【タイトル】 源平弓合戦、船合戦</p>	 <p>【審査員特別賞】 小串小 尾崎 花音</p> <p>【タイトル】 小串の町が夕日で包まれる時間</p>

第6回下関市景観賞 概要

1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ① 良好な景観を形成している民間の建築物、工作物
- ② 良好な景観を形成するための活動を行っている市民、事業者、団体等
- ③ 周囲の景観に調和している等の屋外広告物（看板）

3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成27年6月1日（月）（景観の日）～平成27年7月31日（金）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号、ラジオ紹介
- 3) 応募件数：52件

4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（9名）
- 2) 選考対象：17件（「募集対象」①及び②のみ。③は賞の対象外）
- 3) 選考方法：
 - ・ 書面審査（8月6日（木）～8月17日（月））
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったもの2件ずつを現地審査対象として選定。
 - ・ 現地審査（8月24日（月）9:00～14:00）
対象4件について、デザイン委員会委員のうち6名が現地審査。
 - ・ 最終審査（8月24日（月）15:00～16:00）
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員により、表彰物件2件を選出。

5 表彰

- 1) 日時：平成27年10月4日（日）（都市景観の日）11:00～
- 2) 場所：蛸遊苑 長府製作所記念館（長府侍町二丁目6番45号）
- 3) 参加者：受賞関係者6名、デザイン委員会委員2名、中尾市長以下
下関市関係職員5名
- 4) 表彰部門
 - ・ 建築部門
建築的、歴史的、文化的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等
 - ・ 景観を守り育てる活動部門
地域の魅力を活かした景観を守り育てる活動や、景観まちづくりを推進する活動

受賞対象



【建築部門】

蛸遊苑 長府製作所記念館

（下関市長府侍町二丁目）

平成26年に(株)長府製作所の創立60周年を記念して建設され、会社や地域の歴史を紹介する展示スペースや、会議や催し物等を開催できるホール等を備えた施設です。城下町長府という地域に馴染んだ外観であるとともに、利用する方への配慮の感じられる機能性や利便性を備えている点が評価されました。

（受賞者：長府物産(株) 取締役社長 川上 康男 様）

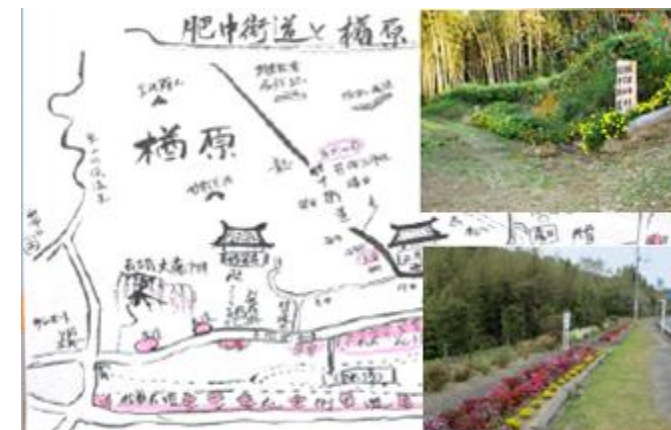
【景観を守り育てる活動部門】

檜原ゆうあい会

（下関市豊田町大字檜原）

地区内の幹線沿いの花壇管理や、室町時代の歴史的遺構や旧街道の保存・整備等を行う団体で、平成19年から活動を続けています。地域の自然や歴史を活かしたまちづくりを展開している点と、抱えている課題を明確に把握しながら、地道にかつ継続的に活動されている点が評価されました。

（受賞者：檜原ゆうあい会 様）



第7回下関市景観賞 概要

1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ① 良好な景観を形成している民間の建築物、工作物で、築造5年以内のもの
- ② 良好な景観を形成している自然環境、まちなみ
- ③ 良好な夜間景観を形成しているライトアップ施設、照明

3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成28年6月1日（水）（景観の日）～平成28年7月15日（金）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号
- 3) 応募件数：48件

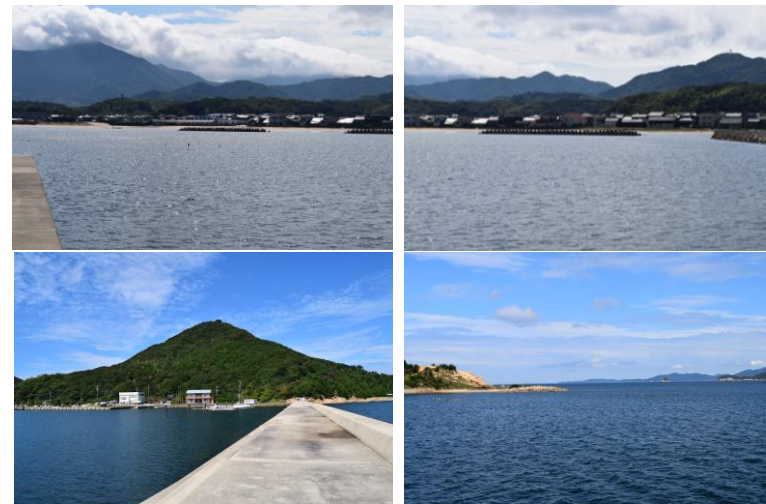
4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（9名）
- 2) 選考対象：35件（「募集対象」①及び②のみ。③は賞の対象外）
- 3) 選考方法：
 - ・書面審査（7月26日（火）～8月19日（金））
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったもの（計5件）を現地審査対象として選定。
 - ・現地審査（9月26日（月）9:00～14:15）
対象5件について、デザイン委員会委員のうち6名が現地審査。
 - ・最終審査（9月26日（月）14:25～15:40）
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員により、表彰物件3件を選出。

5 表彰

- 1) 日時：平成28年11月1日（火）15:30～
- 2) 場所：下関市役所 市長応接室
- 3) 参加者：受賞関係者8名、デザイン委員会委員3名、中尾市長以下
下関市関係職員6名
- 4) 表彰部門
 - ・風景・まちなみ部門
地域固有の景観を活かした、質の高い魅力あふれる自然やまちなみ
 - ・建築部門（新築）
築造5年以内で、建築的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等

受賞対象



【風景・まちなみ部門】（美しい海岸の風景）

室津の海岸

（下関市豊浦町大字室津下）

日本海に面した全長約2kmの湾の西側に位置する室津下地区が対象。漁業集落が横長に連なり、それらの前面にある砂浜等の海辺と後背地の小高い山々等を一体に捉えた景観が美しいという点が評価されました。

（受賞者：室津自治会連合会）

【風景・まちなみ部門】（街道のまちなみ）

赤岸通り

（下関市貴船町）

貴船町の旧街道（北浦街道）沿いで、往時のまちなみの名残として点在している店舗が今でも営業されているところから、地元の方が日々大切に守っておられることが窺えます。街道のまちなみが現代に残されているところが評価されました。

（受賞者：貴船町自治連合会）



【建築部門（新築）】（特別賞）

海の家（0邸）

（下関市富任町）

富任町の安岡海岸付近に建っている個人住宅で、砂浜に近接した土地に、所有者自身が設計に携わって建てられています。「海を身近に感じて生活したい」というコンセプトが存分に伝わってくる物件で、そのユニークさが評価されて、特別賞の受賞となっています。

（受賞者：大久保 誠）



第8回下関市景観賞 概要

1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ①良好な景観を形成している民間の建築物、工作物で、築造5年以上のもの
- ②良好な景観を形成するための活動を行っている市民、事業者、団体等

3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成29年6月1日（水）（景観の日）～平成29年7月14日（金）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号
- 3) 応募件数：14件

4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（10名）
- 2) 選考対象：13件（応募件数のうち、対象外を除いたもの）
- 3) 選考方法：
 - ・書面審査（8月3日（木）～8月18日（金））
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったもの（計3件）を現地審査対象として選定。
 - ・現地審査（9月20日（月）9:00～13:50）
対象3件について、デザイン委員会委員のうち5名が現地審査。
 - ・最終審査（9月26日（月）14:00～15:05）
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員のうち6名により、表彰物件2件を選出。

5 表彰

- 1) 日時：平成29年10月31日（火）16:00～
- 2) 場所：下関市役所 市長応接室
- 3) 参加者：受賞関係者2名、デザイン委員会委員2名、前田市長以下
下関市関係職員6名
- 4) 表彰部門
 - ・建築部門（築造5年以上）
築造5年以上で、建築的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等
 - ・活動部門
地域固有の景観を活かした、質の高い魅力あふれる自然やまちなみ

受賞対象



【建築部門】（奨励賞）

レストラン高津（蜂屋ビル）

（下関市岬之町13-7）

関門海峡が見える高台に位置し、高く積まれた石垣の上にある。

捕鯨産業で栄えてきた下関市の歴史を伝えるもので、外観の大部分が煉瓦積みで、全体的にシンプルだが、付柱、縦長の窓が整然と並び、柱頭飾りなどが特徴。

今年度、この歴史的建物がフレンチレストランとして利活用され、今後の展開を期待させるものであることが評価されました。

（受賞者：レストラン高津）



【活動部門】（奨励賞）

大河内の「Hana」環境を育てる会

（下関市豊田町大河内）

平成26年地主と交渉し竹林を整備し長さ100mの花壇づくりをスタートした。3年目を迎え、中山間集落への少しでも明るい話題づくりと、県道34号線沿いの大河内地区の環境美化をさらに進め、自然豊かな景観を育てる活動が評価されました。

（受賞者：大河内の「Hana」
環境を育てる会）

第9回下関市景観賞 概要

1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ①良好な景観を形成している民間の建築物、工作物で、築造5年以上のもの
- ②良好な景観を形成するための活動を行っている市民、事業者、団体等

3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成30年6月1日（金）（景観の日）～平成30年7月13日（金）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号
- 3) 応募件数：37件

4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（10名）
- 2) 選考対象：26件（応募件数のうち、対象外を除いたもの）
- 3) 選考方法：
 - ・書面審査（8月9日（木）～8月20日（月））
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったもの（計4件）を現地審査対象として選定。
 - ・現地審査（9月12日（水）9:00～14:30）
対象3件について、デザイン委員会委員のうち7名が現地審査。
 - ・最終審査（9月12日（水）14:50～15:50）
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員のうち7名により、表彰物件3件を選出。

5 表彰

- 1) 日時：平成30年10月19日（金）15:00～
- 2) 場所：下関市役所本庁舎本館（仮庁舎）1階 市長応接室
- 3) 参加者：受賞関係者9名、デザイン委員会委員1名、前田市長以下
下関市関係職員7名
- 4) 表彰部門
 - ・建築の保存と活用部門
学術的・芸術的な価値がある物件、周囲の景観と調和している物件、市民に活用されている物件など
 - ・景観を守り育てる活動部門
日常の活動を通じて、優れた景観の向上や創出に寄与している活動、美しいまちづくりや景観づくりに寄与している活動など

受賞対象



【景観を守り育てる活用部門】

勝山ホタルを守る会

（下関市秋根南町二丁目8番）

秋根南町の砂子多川ホタル公園において、かつての農村で見られた「ホタルの飛び交う景観」を、現在の街中に創出することを目指し、ホタル公園で飼育活動を続け、平成19年からホタル公園横の砂子多川でホタルを鑑賞できるようになっています。今も生育環境保全活動を行っており、これまでの自然景観を育てる活動が評価されました。

（受賞者：勝山ホタルを守る会）

【景観を守り育てる活用部門】

勝山三山を守る会

（下関市田倉508-2）

田倉の勝山御殿跡及びこれを取り巻く勝山三山（青山、勝山、四王司山）の山道を維持整備する等、景観を保全する活動を行っており、これまでの自然景観を守り育てる活動が評価されました。

（受賞者：勝山三山を守る会）



【建築の保存と活用部門】（奨励賞）

旧殿居郵便局

（下関市豊田町殿居1111-2）

物件の所在地は、豊田町殿居で、明治35年に豊田町殿居村に開局し、大正12年に木造平屋建、一部八角塔2階建局舎へと改築したものです。

昭和52年に山口県指定有形文化財に指定され、平成28年のライトアップ整備により、夜景に大正ロマンの美しいシルエットを鮮やかに描き出しています。

築100年近く保全された建物であり、周辺の景観と調和している点が評価されました。

（受賞者：河田 麟）



第10回下関市景観賞 概要

1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者のさらなる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集対象

下関市内において、次のいずれかの要件を満たすもの

- ①良好な景観を形成している民間の建築物、工作物のうち、原則築造5年以内のもの
- ②良好な景観を形成しているまちなみ、自然環境等

3 募集方法及び応募件数

- (1) 募集期間：令和元年(2019年)7月1日(月)～8月13日(火)
- (2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号、Facebook、ラジオ広報(カモンFM)
- (3) 応募件数：36件

4 選考

- (1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員(9名)
- (2) 選考対象：29件(応募件数のうち、対象外を除いたもの)
- (3) 選考方法
 - ①書面審査(8月26日(月)～9月19日(木))
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
各部門で得票数が多かったもの(計4件)を現地審査対象として選定。
 - ②現地審査(10月4日(金)9:00～14:00)
対象4件について、デザイン委員会委員のうち7名が現地審査。
 - ③最終審査(10月4日(金)14:15～15:00)
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員のうち7名により、表彰物件3件を選出。

5 表彰

- (1) 日時：令和元年11月19日(火)10:00～
- (2) 場所：下関市役所本庁舎本館(仮庁舎)1階 市長応接室
- (3) 参加者：受賞関係者6名、デザイン委員会委員5名、前田市長以下下関市関係職員8名
- (4) 表彰部門
 - ・建築部門(新築)
学術的・芸術的な価値がある物件、周囲の景観と調和している物件など
 - ・風景・まちなみ部門
自然と調和した景観を保っている農山漁村の集落、周辺の景観と調和するように垣・門・花壇等を設けた区域など

受賞対象



【建築部門(新築)】

The Learning Station CROSSLIGHT(梅光学院大学北館)
(下関市向洋町一丁目1番1号)

外観は、大きくせり出したバルコニーが強い印象を与えます。館内は、教室、廊下等の空間を完全に仕切ることなく、開放的、流動的な空間を産み出しています。多様な形態の教室、自由に配置できるさまざまな机や椅子類などフリーアドレスオフィスの様々な意欲的な試みが導入されています。

設計の計画段階から、学生、教員、職員等の参画もあって、活発な交流が実現されるよう考慮され、建築空間全体が学校活動に効果的に活用されていく雰囲気有している点が評価されました。

(受賞者：学校法人梅光学院)



【風景・まちなみ部門】

吉見古宿町から見た賀茂島
(下関市吉見古宿町)

一見したところ3つの島が並んでいるように見えますが、1つの島です。特に夕日に映える風景が美しく、古くから地域住民に親しまれています。3つの岩山に自生する松は、最近では急速に松枯れが進んでいますが、地域住民が植樹等の保全活動に取り組んでいます。

3連の島の風景が愛され、地域住民によって大切に守られている点が評価されました。

(受賞者：賀茂島の景観を守る会)



【風景・まちなみ部門】

小串漁港、小島神社
(下関市豊浦町大字小串)

岩山の上に建つ神社は、現在、周囲が埋め立てられて、入江状の漁港の一部を形づくっていますが、江戸時代には海に面していました。神社の敷地では夏祭りが行われるなど、地域住民に親しまれ、大事にされています。

岩山の上に趣のある神社が建つ景観は、昔の海岸を想起させ、迫力すら感じさせる点が評価されました。

(受賞者：小串地区自治会連合会)

第11回下関市景観賞概要

1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者等のさらなる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集内容

- 景観フォトコンテスト部門
下関市内の「私が残したい素晴らしい景観」をテーマとした写真が対象。
- 景観デザイン部門
下関市内にある、良好な景観を形成している建築物・工作物（リフォーム・リノベーションを含む。）が対象。
- 景観まちづくり活動部門
下関市内で行われている、良好な景観を形成するための活動が対象。

3 募集方法及び応募件数

- 募集期間 令和2年(2020年)7月1日(水)～8月31日(月)
- 募集広報 市長定例記者会見、市ホームページ、市報7月号、Facebook、テレビ広報(J:COM)、ラジオ広報(カモンFM)
- 応募件数 35件

4 選考

- 選考者 下関市景観審議会デザイン委員会委員(10人)
- 選考対象 34件(応募件数のうち、募集要件を満たさない1件を除外。)
- 選考方法
 - 書面審査(9月14日(月)～9月29日(火))
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったものを最終審査対象として選定。
(最終審査対象:景観フォトコンテスト部門9件、景観デザイン部門2件、景観まちづくり活動部門2件)
 - 現地審査(10月30日(金)9:00～14:40)
最終審査対象のうち、3件について、デザイン委員会委員(10人中6人)が現地審査。
※景観フォトコンテスト部門案件は写真で審査するため、現地審査対象外。
※景観まちづくり活動2件のうち1件は現地審査に適さないため、現地審査対象外。
 - 最終審査(10月30日(金)14:50～15:45)
現地審査、資料を踏まえ、デザイン委員会委員(10人中6人)により、表彰案件を選定。

景観フォトコンテスト部門

景観賞 「響灘を望む素敵なサンセットスポット」
(撮影場所:彦島ナイスビューパーク)(受賞者:鈴木 浩介)

優秀賞2件

- ・「暮れなずむ海辺に沈む夕日」
(撮影場所:吉母の海岸)(受賞者:山川 孝一)

- ・「星空に願いを込めて」
(撮影場所:福德稲荷神社)(受賞者:重松 将史)

入選5件

- ・「ダイヤモンドを散りばめた夕闇の関門海峡」
(撮影場所:火の山山頂)(受賞者:山川 孝一)
- ・「幻想的な紺碧の海と空」
(撮影場所:火の山山頂駐車場)(受賞者:山川 孝一)
- ・「大動脈 関門海峡の美」
(撮影場所:火の山公園展望台)(受賞者:松下 博)
- ・「海をつなぎ陸をつなぐ」
(撮影場所:関彦橋)(受賞者:重松 将史)
- ・「長門鉄道 昭和31年3月廃止(JR小月駅～豊田町西市間)」
(撮影場所:豊田図書館の入口、菊川町西中山農道路のそば)
(受賞者:藤田 敬治)

景観デザイン部門

景観賞 「A g a w a、JR阿川駅待合所」
(所在地:下関市豊北町大字阿川水取3653)
(受賞者:株式会社h a s e、西日本旅客鉄道株式会社広島支社)

景観まちづくり活動部門

景観賞 「彦島ナイスビューパーク内のあずまやを「ヒコハツ!」+地元有志でリノベーションした活動」
(活動場所:彦島迫町六丁目1-40 ナイスビューパーク内)
(受賞者:ヒコハツ! 共同代表 鈴木 浩介)

特別賞 「海峡線香花火大会」
(受賞者:中村 周生)

5 表彰式

- 日時 令和2年12月22日(火)10:00～
- 場所 下関市役所本庁舎東棟5階 市長応接室
- 出席者 12人:受賞関係者3人、デザイン委員会会長、前田市長、都市整備部職員7人

景観フォトコンテスト部門

【景観賞】

「響灘を望む素敵なサンセットスポット」

(撮影場所：彦島ナイスビューパーク)

(受賞者：鈴木 浩介)

[応募者コメント]

響灘を臨むこの場所のサンセットは非常に美しく、竹の子島・彦島・北九州・六連島・長州出島・蓋井島までを美しく彩ります。無料の双眼鏡は密かな人気スポットです。

[講評]

海と夕日のコントラスト、および、双眼鏡をのぞく子どもの後ろ姿を印象的に捉え、のびやかな美しい眺望にいざなっている点が評価されました。



景観フォトコンテスト部門

【優秀賞】2件

「暮れなずむ海辺に沈む夕日」

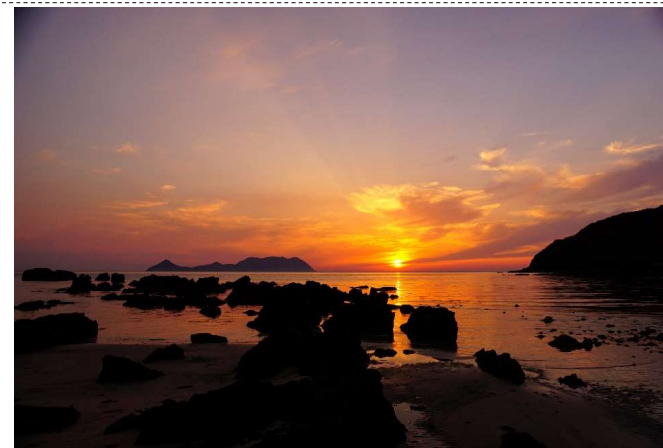
(撮影場所：吉母の海岸)(受賞者：山川 孝一)

[応募者コメント]

大潮の時、潮が引くと、岩礁が砂浜の水際まで現れます。夕日が沈む時間帯とタイミングが合えば、ここから眺める夕日は、絶景です(遠くに見えるのは、蓋井島です。)

[講評]

変化に富む岩礁の先に広がる光輝く海と夕日、そして、一層美しい夕空を捉えている点が評価されました。



「星空に願いを込めて」

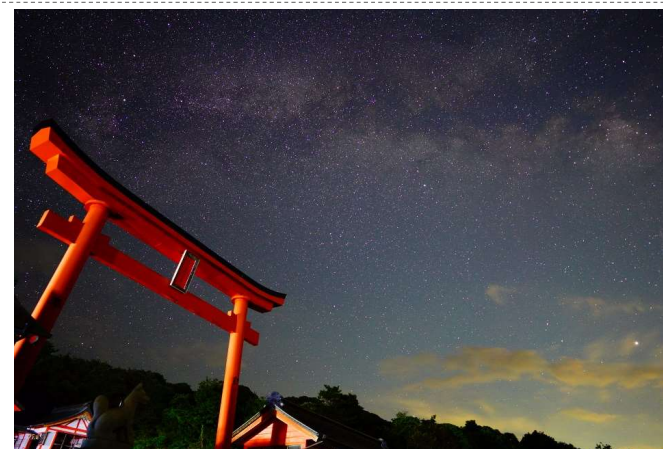
(撮影場所：福德稻荷神社)(受賞者：重松 将史)

[応募者コメント]

下関市内で満天の星空を見ることができる、数少ない場所だと思います。撮影日には天の川を撮ることができました。

[講評]

満点の美しい星空を、赤色に映える鳥居が際立たせている点が評価されました。



景観フォトコンテスト部門

【入選】 5 件

「ダイヤモンドを散りばめた夕闇の関門海峡」
(撮影場所：火の山山頂) (受賞者：山川 孝一)

[応募者コメント]

火の山山頂から眺める関門海峡の景観は、東洋のモナコと言われるほど素晴らしいものです。ましてや、夜景は、日本の三大夜景と言われるところと比べても、決して劣るものではありません。



「幻想的な紺碧の海と空」
(撮影場所：火の山山頂駐車場) (受賞者：山川 孝一)

[応募者コメント]

火の山山頂から眺めるパノラマ眺望は、全国どこを見回しても、ここに勝るところはありません。特に空気の澄んだ日の、海と空が織りなす眺望は絶景です。



「大動脈 関門海峡の美」
(撮影場所：火の山公園展望台) (受賞者：松下 博)

[応募者コメント]

7月、8月は雨とスモッグが多く、撮影の機会が少ない中、8月中旬に1日だけ撮影の機会あり、唯一の1枚です。美しさの中に機動性を備えた関門橋と関門海峡、私が残したい素晴らしい景観です。もっともっと沢山の人に見ていただきたい景観でもあります。



「海をつなぎ陸をつなぐ」

(撮影場所：関彦橋) (受賞者：重松 将史)

[応募者コメント]

下関漁港関門は、日本海と瀬戸内海、彦島と本州をつなぐ橋であり、未来に残したい風景だと思います。

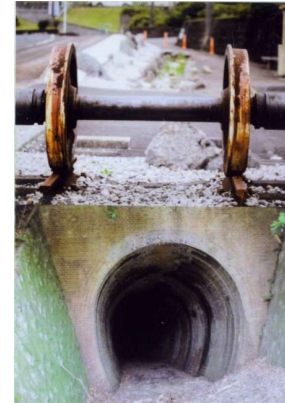


「長門鉄道 昭和31年3月廃止 (JR小月駅～豊田町西市間)」

(撮影場所：豊田図書館の入口、菊川町西中山農道路のそば) (受賞者：藤田 敬治)

[応募者コメント]

豊田町西市図書館の入口に車輪があります。菊川町西中山農道路のそばに長門鉄道のトンネル跡があります。全線で1箇所のみです。行くには、雑草で足元が悪い。小学校低学年まで長門鉄道で通学でした。市民の中には、長門鉄道が懐かしい人もいます。



景観デザイン部門

【景観賞】

「A g a w a、J R阿川駅待合所」

(所在地：下関市豊北町大字阿川水取3653)

(受賞者：株式会社h a s e、西日本旅客鉄道株式会社広島支社)

【講評】

無人駅のエントランス部分に、シンプルな造りの建物が3棟、建ち並んでいます。都会的な建物でありながら、ガラス張りで透明感があることから、周りの田畑やそばに立つメタセコイアも取り込んで、周囲の風景にバランスよく溶け込んでいます。

商業施設A g a w aでは地元食材を使った飲食物の提供、地元のおみやげ販売、レンタサイクルなども展開しており、1日に数十人しかいなかった駅の利用者が週末には数百人規模となり、地域の新たな憩いと集いの場として地域活性化につながっています。

外部空間と内部空間を隔てない発想、および、駅が元々持っていた「溜まり」の場としての役割をもう一度見直そうとして、成功に導いている点が評価されました。



景観まちづくり活動部門

【景観賞】

「彦島ナイスビューパーク内のあずまやを「ヒコハツ！」+地元有志でリノベーションした活動」

(活動場所：彦島迫町六丁目1-40ナイスビューパーク内)

(受賞者：ヒコハツ！ 共同代表 鈴木 浩介)

【講評】

破損し老朽化していた公園のあずまやを、彦島の地元有志たちが数日かけて、自主的に修復改善を行ったD I Yリノベーション活動です。

軒とハイカウンターの高さ、位置を調整し、地味でも派手でもなく親しめる色合いを選択し、中に入れば、海や空の素晴らしい景色を映画のスクリーンのように切り取った形で眺めることができる「みんなにとってのカウンター席」となっています。

自分たちの街の景観を大事に守るため、材料を持ち寄り、自主的に活動している点、そして、完成後のメンテナンス活動も行い、リノベーションに継続性がある点などが評価されました。



景観まちづくり活動部門

【特別賞】 ※特別賞は、景観賞に準じる案件を表彰するものです。

「海峡線香花火大会」 (受賞者：中村 周生)

[講評]

新型コロナウイルスにより中止となった有数の「関門海峡花火大会」の代わりになるよう、打ち上げ花火15,000発と同数の線香花火を15,000人に配って、令和2年8月13日20時に一斉に花火をともしてSNSに投稿してもらい、インターネット上で花火大会を行ったというアイデアあふれる、大勢参加の活動です。

クラウドファンディングや伝統的で高品質な線香花火を用意するなど、様々な工夫を凝らし、実現させています。

下関出身の大学生が、新型コロナウイルスに対応するために、インパクトのあるアイデア・方法を独自に考案した点、および、関門両市にとっての一大風物詩である海峡花火大会を途絶えさせないでつないでいこうと願い、かなえさせた点が評価されました。



今年の8月13日は、関門海峡花火大会を想像し、来年以降の開催を願って、大会の歴史や込められた思いを知る日になればと思います。
ふるさとを誇りに誇り、海峡に燃える魂を継ぐの日として、この海峡線香花火大会も、優しく穏やかな気持ちにしたいと思っています。

8月13日の夜8時、Twitterにて、
他の「線香花火」の写真や動画をアップロードしていただけますが、
持ち合わせ場所は「#海峡線香花火大会」です。

同封している線香花火は、
西の線香花火「スボ手牡丹」です。
自然界の素材でつくられている
純国産の貴重な1本です。
国内で製造しているのは唯一ここだけです。
目まぐるしく表情を変え、儂く消えゆく
十数秒間の一生をあなたに見守っていただきたいです。
穂先は斜め上に、

tsutsufukimasa.jp
同封している線香花火は、
西の線香花火「スボ手牡丹」です。
自然界の素材でつくられている
純国産の貴重な1本です。
国内で製造しているのは唯一ここだけです。
目まぐるしく表情を変え、儂く消えゆく
十数秒間の一生をあなたに見守っていただきたいです。
穂先は斜め上に、

たっぷりの水を用意して、火事にならないよう気をつけてください。




招待状

初めまして。海峡線香花火大会主催者の中村周生です。
海峡線香花火大会は、関門両市山口市下関市出身の男子大学生です。
中上になつてしまつた「関門海峡花火大会」の夜に、
それ以外の夜からTwitterにて「線香花火」を打ち上げる
『海峡線香花火大会』というお祭りをはじめ、遠慮に呼びかけを続けてきました。
僕の活動に賛同してくださる方々からたくさんのご支援もいただきました。
その思いを丁寧に話してあなたにお渡しします。

一人ひとりの誇りで、
新しいニュースをつくりだすため、
あきらめず、
皆さんの思いが実現する
大きな力になさっています。

線香花火 一斉に15,000発

今年はおあなたが花火師です。海峡線香花火大会で会いましょう。



2020.8.13
海峡線香花火大会
STAY HOME

無念の中止
関門海峡花火大会の夜に、
15000発の線香花火を。

@KAIKOSENKO



90001から15000までの
花火師番号をつけています。

8月13日の夜、
海峡線香花火大会の
Twitterにて、
「線香花火」の特産品が当たる
宝くじをご用意しています。お楽しみに。

あなたが受け取ったこの線香花火は、
@KAIKOSENKO
kaikyosenko.official.ec
関門線香花火の「まふら」
ご支援を受け付けております。

からのプレゼントです。 中村周生 Twitter @NakamuraShuuei

第12回下関市景観賞概要

1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民の皆さんへの景観まちづくりに対する関心の醸成や活動者、所有者、設計者等のさらなる景観意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集内容

- (1) 景観フォトコンテスト部門
下関市内の「私が残したい素晴らしい景観」をテーマとした写真が対象。
- (2) 景観デザイン部門
下関市内にある、良好な景観を形成している建築物・工作物等が対象。
- (3) 景観まちづくり活動部門
下関市内で行われている、良好な景観を形成するための活動が対象。

3 募集方法及び応募件数

- (1) 募集期間 令和3年(2021年)6月1日(火)～8月2日(月)(63日間)
- (2) 募集広報 市長定例記者会見、報道発表、市ホームページ、市報6月号、フェイスブック、インスタグラム
- (3) 応募件数 196件

4 選考

- (1) 選考者 下関市景観審議会デザイン委員会委員(10人)
- (2) 選考対象 118件(応募件数のうち、募集要件を満たさない78件を除外。)
※応募要件不適合の主な理由: 応募要件「1人3点まで」(景観フォトコンテスト部門)を満たさなかったため。
- (3) 選考方法
 - ア 書面審査(8月16日(月)～9月3日(金))
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったものを最終審査対象として選定。
(最終審査対象: 景観フォトコンテスト部門9件、景観デザイン部門2件、景観まちづくり活動部門2件)
 - イ 現地審査等(10月5日(火)10:00～14:20)
最終審査対象のうち、3件について、デザイン委員会委員(10人中7人)が現地審査。
※景観フォトコンテスト部門は、写真で審査するため、現地審査対象外。
※景観まちづくり活動部門2件のうち1件は、現地審査に適さないため、現地審査対象外。
最終審査会の前に、活動団体による説明・委員による質疑を行った。
 - ウ 最終審査(10月5日(火)14:20～15:20)
現地審査・資料を踏まえ、デザイン委員会委員(10人中7人)により、表彰案件を選定。

景観フォトコンテスト部門

景観賞 「砂紋(さもん)」

(撮影スポット: 綾羅木海岸)

(受賞者: toko3318) ※インスタグラムアカウント(インスタ応募)

優秀賞2件

- ・「汽車」
(撮影スポット: 県道247号線山陰本線陸橋(安岡町一丁目))
(受賞者: 安田 真也)
- ・「天空の鳥居への道」
(撮影スポット: 桜井八幡宮御陵鳥居(菊川町大字上岡枝))
(受賞者: 白石 健太)

入選5件

- ・「月あかりの海に映える宵の関門橋」
(撮影スポット: 火の山ロープウェイ山頂駅(藤ヶ谷))
(受賞者: 山川 孝一)
- ・「エメラルドグリーン色の海に佇む白壁の雄姿」
(撮影スポット: 豊北町大字神田上字和久)
(受賞者: 山川 孝一)
- ・「暮れゆく空」
(撮影スポット: 老の山公園(彦島老の山公園 I))
(受賞者: nakamaru_shukichi) ※インスタグラムアカウント(インスタ応募)
- ・「無人駅」
(撮影スポット: JR宇賀本郷駅(豊浦町大字宇賀字上田))
(受賞者: nakamaru_shukichi) ※インスタグラムアカウント(インスタ応募)
- ・「近所」
(撮影スポット: 大字吉田(吉田大橋周辺))
(受賞者: 徳永 毅)

景観デザイン部門

景観賞 「TAGLINE(タグライン) by craftsman coffee roasters」

(所在地: 南部町1-7)

(受賞者: 合同会社CRAFTSMAN)

景観まちづくり活動部門

景観賞 「日和山公園愛護会の活動」

(活動場所: 日和山公園内及び日和山を中心とした地域(丸山町五丁目ほか))

(受賞者: 日和山公園愛護会)

5 表彰式

- (1) 日時 令和3年11月18日(木)10:00～
- (2) 場所 下関市役所本庁舎 東棟5階 市長応接室
- (3) 出席者 12人: 受賞関係者3人、デザイン委員会会長、前田市長、都市整備部職員7人

景観フォトコンテスト部門【景観賞】

「砂紋(さもん)」
(撮影スポット：綾羅木海岸)
(受賞者：toko3318)

インスタ応募

[応募者コメント]

ちょっとだけ砂紋が見れました。昨日の日が沈む前の景色、変わる空色がたまらんちゃね。梅雨明け間近なのかな……。今日もスコールのような雨が繰り返し、晴れたり曇ったり忙しい空模様でした。

[講評]

ひだのある砂紋が沈みゆく太陽に照らし出され、実に美しく輝いています。秀逸な夕日の海岸風景として高く評価されました。



景観フォトコンテスト部門

【優秀賞】

「汽車」
(撮影スポット：県道 247 号線山陰本線陸橋(安岡町一丁目))
(受賞者：安田 真也)

一般応募

[応募者コメント]

まっすぐに伸びる線路を走る山陰線。列車全体と背景の山々の美しさを撮影できる市内でも数少ないスポット。

[講評]

直線に延びる線路、その先の遠い山並み、雲の浮かぶ青い空、のびやかな緑と青の素朴な風景の中に、朱色の電車が生き生きとした存在感を示している点が評価されました。



景観フォトコンテスト部門

【優秀賞】

「天空の鳥居への道」
(撮影スポット：桜井八幡宮御陵鳥居(菊川町大字上岡枝))
(受賞者：白石 健太)

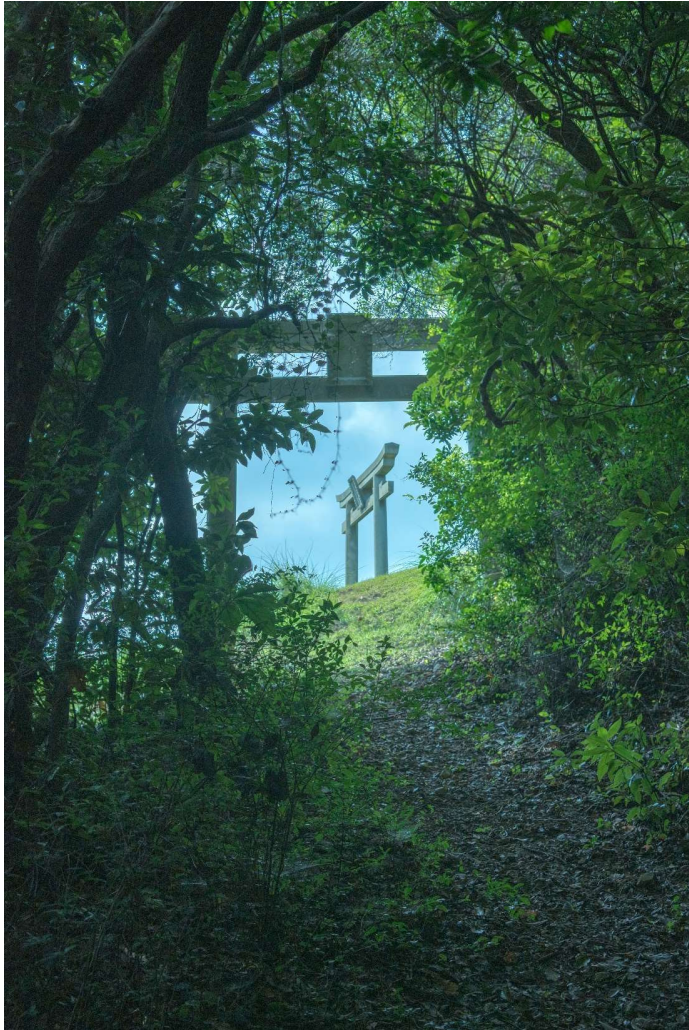
一般応募

[応募者コメント]

下関市の最高峰、華山(げざん)にある天空鳥居。登山道の出口に鳥居があり、その先にまた鳥居が待っている光景は、とても神秘的だったという感覚が今も残っています。

[講評]

山を上り詰めながらふと出くわした、木々の緑に囲まれながら、ほっこりとした明るい空に浮かぶ二つの鳥居。希望の樂園に向かっていっていると思わせるイメージの、美しい光景をとらえている点が評価されました。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

月あかりの海に映える宵の関門橋」
(撮影スポット：火の山ロープウェイ山頂駅(藤ヶ谷))(受賞者：山川 孝一)

一般応募

[応募者コメント]

月あかりに反射する海面と、煌びやかな対岸の街の灯りととの競演で、関門橋の夜景は、とてもロマンチックです。日本各地に有名な夜景スポットがありますが、こんなに感動する情景は、他では味わえません。



「エメラルドグリーン色の海に佇む白壁の雄姿」
(撮影スポット：豊北町大字神田上字和久)(受賞者：山川 孝一)

一般応募

[応募者コメント]

紺碧の空の下、エメラルドグリーン色の海に佇む白壁の雄姿は、一際、目をひき絶景です。国道沿いの展望所からの眺望は、中には角島が見え、ロケーション抜群です。



景観フォトコンテスト部門

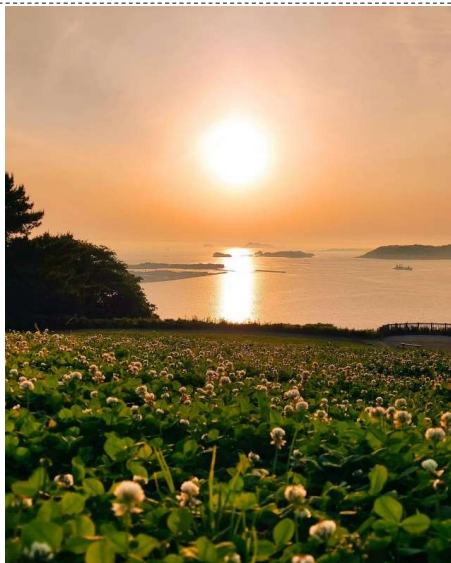
【入選】

「暮れゆく空」
(撮影スポット:老の山公園(彦島老の山公園 1))(受賞者:nakamaru_shukichi)

インスタ応募

[応募者コメント]

下関を代表する夕日スポット

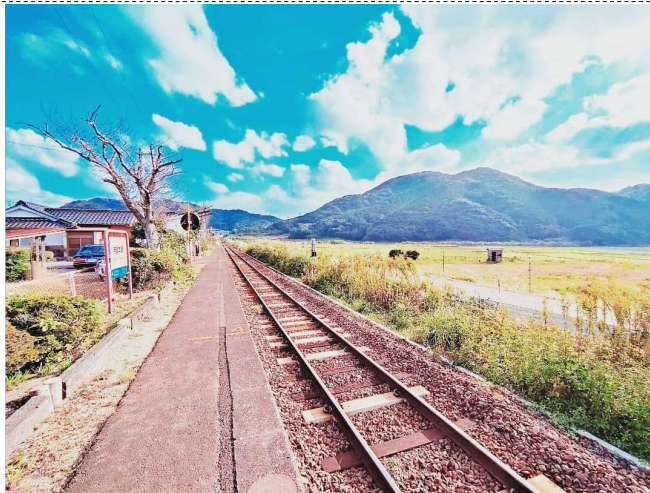


「無人駅」
(撮影スポット:JR宇賀本郷駅(豊浦町大字宇賀字上田))
(受賞者:nakamaru_shukichi)

インスタ応募

[応募者コメント]

絵画のような風景がお気に入りです。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

「近所」
(撮影スポット:大字吉田(吉田大橋周辺))(受賞者:徳永 毅)

インスタ応募

[応募者コメント]

夕方、思い出したかのようにウォーキングへ。景色に応援されました。



景観デザイン部門

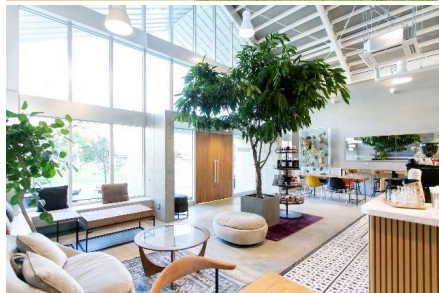
【景観賞】

「TAGLINE (タグライン) by craftsman coffee roasters」
 (所在地：南部町 1-7)
 (受賞者：合同会社 CRAFTSMAN)

【講評】

下関市役所前の市民広場に建つカフェ。新装なった大きな庁舎の建物、広い芝生の前庭とそれを囲むメタセコイアなどの大きな木々、それらの周りの新たな風景の中で存在感を示すシンプルな建築物で、テラスなど建築物の縁辺も十分に活かせるような雰囲気を持っています。

新たに出現した市の中心のオアシスであり、特異なデザイン性はなくとも、市役所のすぐそばにあって、これからも人々が寄り合える場としての「街の縁側づくり」の可能性を有している点が評価されました。



景観まちづくり活動部門

【景観賞】

「日和山公園愛護会の活動」
 (活動場所：日和山公園内及び日和山を中心とした地域(丸山町五丁目ほか))
 (受賞者：日和山公園愛護会)

【講評】

関門海峡を見晴らす丘の上において、歴史的建造物を有する上水道施設のそばに位置する日和山公園は、下関市で最初に設置された公園。その老朽化した公園が、市民にもっと利用され、愛着を持たれるようにと、定期的な清掃・除草活動、花植えや日常的な管理といった維持保全、公園内の記念碑・彫像などの顕彰や祭りなど、さまざまな活動を有志のみなさんで楽しみながら行っています。

平成 30 年には、明治維新 150 周年を記念しての「日和山の竹あかり」イベントを開催し、多くの人々が集まりました。多くの人々が歴史の積み重ねを感じながら、親しみを増して行くほどに、公園はより美しく磨かれて行く、と思わせます。

街なかに生まれた、地域活性化にも結びつく自主的な公園愛護活動として評価されました。

